

手ぶくろを買いに

新美 南吉

雪の中であそび、つめたくなつた子ぎつねの手を見て、母さんぎつねは手ぶくろを買ってあげようと思います。そこで、親子のきつねは、夜がくるのを待っていました。

暗い暗い夜がふるしぎのよう

なかけをひろげて野原や森をつつみにやつてきましたが、雪はあまり白いので、つっんでもつっんでも白くうかびあがっていました。

親子の銀ぎつねはほらあなから出ました。子どものはお母さんのおなかの下へ入りこんで、そこからまんまるな目をばちばちさせながら、あっちゃこつちを見ながら歩いて行きました。



やがて、行く手にぽつとり、明かりが一つ見え始めました。それを子どもはきつねが見つけて、「母ちゃん、お星さまは、あんな低いところにも落ちてるのねえ。」と聞きました。

「あれはお星さまじゃないのよ。」
と云つて、そのとき、母さんぎつねの足はすくんでしまいました。

「あれは 町の灯(ひ)なんだよ。」
その町の灯を見たとき、母さんぎつねは、あるとき町へお友達と出かけていって、とんだ目にあつたことを思い出しました。およしなさいつて言つのも聞かないで、お友達のきつねが、ある家のあひるをぬすもうとしたので、おひやくしょうに見つかつて、さんざ追いまくられて、命からがらにげたことでした。

「母ちゃん、何してんの。早く行こつよ。」
と、子どものきつねがおなかの下から言つのでしたが、母さんぎつねはどうしても足が進まないのでした。そこで、しかたがないので、ぼつやだけを一人で町まで行かせることになりました。

(よ) 手ぶくろを買いに「新美南吉

上の文をよく読んで次の問いに答えましょう。

【場面の様子を読み取る】

- 一、線 はどんな様子を表していますか。
あてはまるものに丸を付けましょう。
- () 夕方から夜になっていく様子
() 真夜中の様子
() 夜から朝になっていく様子

【動きやよつすを表す言葉から心情を想像する】

- 二、この子ぎつねは、はじめて夜に外を歩いています。そのことが分かる文を探して、次の文を完成させましょう。

まんまるな目を

させながら、

を見ながら歩いて行きました。

【内容をたしかに読み取る】

- 三、線 の「町の灯(ひ)」を見て、子ぎつねは何だと思いましたが。

【言葉の意味を理解する】

- 四、線 の「足が進まない」について、次の問いに答えましょう

- (1) 「足が進まない。」と同じ意味の言葉を文中からさがし、次の文を完成させましょう。

母さんぎつねの

は

しまいました。

【行動を表す言葉から心情を読み取る】

- (2) なぜ、母さんぎつねは足が進まなくなつたのですか。当てはまるものに丸を付けましょう。

- () 町の灯が星のようできれいだったから
() こわかったことを思い出したから
() 子ぎつねだけで町に行かせたかったから

手ぶくろを買いに

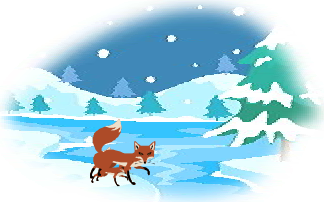
新美 南吉

雪の中であそび、つめたくなつた子ぎつねの手を見て、母さんぎつねはてぶくろを買ってあげようと思います。そこで、親子のきつねは、夜がくるのを待っていました。

暗い暗い夜がふるしきのよつな

かげをひろげて野原や森をつつみにやつてきましたが、雪はあまり白いで、つつんでももつつんでも白くうかびあがっていました。

親子の銀ぎつねはほらあなから出ました。子どものはお母さんのおなかの下へ入りこんで、そこからまんまるな目をぱちぱちさせながら、あつちやこつちを見ながら歩いて行きました。



やがて、行く手にぽつとり、明かりが一つ見え始めました。それを子どもはぎつねが見つけて、「母ちゃん、お星さまは、あんな低いところにも落ちてるのねえ。」と聞きました。

「あれはお星さまじゃないのよ。」
と言つて、そのとき、母さんぎつねの足はすくんでしまいました。

「あれは 町の灯(ひ)なんだよ。」
その町の灯を見たとき、母さんぎつねは、あるとき町へお友達と出かけていつて、とんだ目にあつたことを思い出しました。およしなさいつて言つのも聞かないで、お友達のきつねが、ある家のあるひるをぬすもうとしたので、おひやくしょうに見つかつて、さんざ追いまくられて、命からがらにげたことでした。

「母ちゃん、何してんの。早く行つてよ。」
と、子どものきつねがおなかの下から言つのでしたが、母さんぎつねはどうしても足が進まないのでした。そこで、しかたがないので、ぼつやだけを一人で町まで行かせることになりました。

(1) 手ぶくろを買いに。(新美南吉より)

上の文をよく読んで次の問いに答えましょう。

一、線 はどんな様子を表していますか。
あてはまるものに丸を付けましょう。

*夕方から夜になっていく様子 ()

*真夜中の様子 ()

*夜から朝になっていく様子 ()

「暗い暗い夜が森をつつみにやつてきた。」というところは、まだつつんでいないということだから、まだ真夜中になつていないということになりますね。

二、この子ぎつねは、はじめて夜に外を歩いていきます。そのことが分かる文を探して、次の文を完成させましょう。

まんまるな目を**ぱちぱち**させながら、

あつちやこつちを見ながら歩いて行きました。

はじめてのできごとを体験する時、あなたはどんな行動をしますか。子ぎつねも、はじめて見る夜の景色におどろいたり、興味をもったりしている様子が分かりますね。

三、線 の「町の灯(ひ)」を見て、子ぎつねは何だと思いましたが。

お星さま

会話をよく読むと分かりますね。「あれは〜」と母さんぎつねが二回言っていますが、「あれ」が指すものが何か考えながら読むことも大切です。

四、線 の「足が進まない」について、次の問いに答えましょう

(1) 足が進まない。」と同じ意味の言葉を文中からさがし、次の文を完成させましょう。

母さんぎつねの**足**は**すくんで**しまいました。

同じ意味をもった言葉ですね。「すくむ」という言葉は身がちぢんで動かないという意味で使われています。

(2) なぜ、母さんぎつねは足が進まなくなつたのですか。当てはまるものに丸を付けましょう。

*町の灯が星のようできれいだったから ()

*こわかったことを思い出したから ()

*子ぎつねだけで町に行かされたかったから ()

「足が進まない」は、進もうと思っっているけども、体がいふことをきかない様子を表します。進もうと思っっている以上に行きたくない理由があるので進めないのですね。母ぎつねにとって行きたくない理由を読み取りましょう。